

国連気候行動サミット

米ニューヨークの国連本部で9月23日、気候行動サミットが開かれ、各国が気候変動への対応を議論しました。

WMO(世界気象機関)の報告では、温室効果ガスの影響で2014年～2019年の5年間の世界の平均気温は観測史上最も暑くなるとみられ、二酸化炭素削減の対策強化が急務だと指摘しています。

日本でも近年のゲリラ豪雨や記録的な猛暑には温暖化の影響があると考えられていて、先進国として真摯にこの問題に取り組まなければならない立場です。しかしながら国内の電力供給の28.3%(内訳として2番目に多い/2018年)を石炭火力発電に頼り、各国から厳しい目で見られているのが現状です。

島田PCでは製造設備に電力測定・稼動記録収集装置を設置し、消費電力の見える化を通じて省エネルギーそして低炭素社会への取り組みを行っています。一人ひとりの小さな行動も積み重ねれば大きな効果を生み出すものです。例えば残業を減らし早く就寝する、といった些細なことでも節電に繋がります。私たちが仕事への取り組み方、生活習慣を見直し地球のため、次の世代の子供たちのために、できることから始めましょう。



PD講座

9月26日、石塚産業株式会社の譲原様を講師として本社にお招きし、PD講座「接着剤」の講義が行われ、7名が受講しました。接着剤を代表的な主成分によって分類し、それぞれの特性や接着する仕組みの説明、また接着剤の性状表の見方についても解説をしていただきました。

各接着剤の長所短所や取り扱い上の注意点な

ど、本社では普段なかなか意識できていない部分についても理解を深めることができました。



台風15号

9月5日に発生した台風15号が千葉県南部を中心に関東各地で大きな被害をもたらしました。この台風では風雨による直接的な被害だけでなく、長期間にわたる停電や断水の影響で熱中症とみられる症状で亡くなる方や、台風通過後の屋根の補修中に転落してケガをするなどの痛ましいニュースも多く聞かれました。防ぐことの困難な自然災害だからこそ、避難場所の確認や飲食物・緊急時に必要な物品の備蓄など、日常でできる非常の備えを見直し「こんなときどうする?」について改めて考える必要性を感じました。



JS環境委員会短信

長かった残暑も落ち着き、ようやく秋らしくなってきました。過ごしやすい季節です。たまにはゆっくり外を歩いて自然の風を感じてみるのもよいものです。

本社 環境委員会メンバー 2019

委員長：下鳥治

委員：小井土昌弘 河野純一 庄司亜佐子

曲師里奈 森智史

